

事業番号	04 12 09	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	毒物劇物安全対策費				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	薬事管理課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 4 食品・医薬品等の安全確保			E-mail	yakuji@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S25 ~		

1 事業の概要

目指す姿	毒物劇物の適正な取扱い、保管がなされ、毒物劇物による事件・事故がない長野県を目指す。 毒物劇物の事故に対応するための処理剤(中和剤等)を備蓄することにより、緊急時に対応できるよう体制を整える。				
現状 (予算編成時)	○平成24年度における毒物劇物の違反件数は、毒物劇物営業者は43件、業務上取扱者は159件あり、適正な取扱い、保管がなされていない。事件・事故についても4件発生している。 ○事故処理剤等を使用する事故は近年発生していないが、常に緊急時に対応できるよう体制を整えておく必要がある。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 毒物及び劇物取締法			
	県民との協働による実施：実施は困難				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)				
	年2回の危害防止運動(農業危害防止運動、毒物劇物及び農業危害防止運動)を農政部と協力して実施する。 毒物劇物事故対策研修会を年1回開催する。 事故発生時に備え、緊急に必要とされる事故処理剤を確実に備蓄する。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
1 監視指導	直接	・登録・許可等事務電算処理、立入検査 ・危害防止運動の実施(2回) ・毒物劇物事故対策研修会の開催(1会場1回)	876	739	707
2 空気呼吸器保守点検	直接	空気呼吸器の保守点検、空気の充填(11ヶ所17本) 空気ボンベの定期的耐圧試験(5保健所5本)	264	206	272
3 毒物劇物事故処理剤備蓄補助事業	補助金	毒物劇物事故処理剤の備蓄(5ヶ所6品目)	500	500	500
合計			1,640	1,445	1,479

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,544	1,476	1,640	1,479
	補正予算				
	合計(A)	1,544	1,476	1,640	1,479
	一般財源				
	県債				
	国庫支出金				
	その他	1,544	1,476	1,640	1,479
	決算額(B)	1,477	1,248	1,445	
概算人件費	職員数(人)	2.50	2.50	2.50	2.50
概算人件費(C)	20,645	20,645	20,645	20,645	
概算事業費(B(A)+C)	22,122	21,893	22,090	22,124	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
危害防止運動	2回	2回	2回	達成	2回
毒物劇物事故対策研修会	1回	1回	1回	達成	1回
毒物劇物事故処理剤の備蓄	5ヶ所6品目	5ヶ所6品目	5ヶ所6品目	達成	5ヶ所6品目

目標に対する成果の状況	農業危害防止運動、毒物劇物及び農業危害防止運動を農政部と協力して実施し、毒物劇物の適正な取扱い等について県民に啓発することができた。 毒物劇物事故対策研修会を長野市において開催し、関係者の毒物劇物の安全管理意識を高めることができた(出席者103名)。 飯田市で開催された空気呼吸器着装訓練に保健所等職員9名が参加し、空気呼吸器の着装方法を習得することができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き危害防止運動や毒物劇物事故対策研修会等を通じ、毒物劇物による危害防止について周知することにより、毒物劇物の適正な取扱いや保管がなされ、毒物劇物による事件・事故のない長野県を目指す。 また、毒物劇物による事故発生時に安全・迅速に対応できるよう、空気呼吸器の取扱いについて習熟する。